

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHP などでご確認下さい。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、本誌に掲載された討論会に関する情報は、下記本会ホームページからご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

第77回 プラスチックフィルム研究会講座/ 2025 有機エレクトロニクス 研究会講座

一次世代の有機エレクトロニクスと
その革新的発展を支える
高分子フィルム技術との融合—

主催 高分子学会プラスチックフィルム研究会
高分子学会有機エレクトロニクス研究会

協賛 日本化学会

会期 3月5日(木)10時20分～16時40分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 東京科学大学大岡山キャンパス西9号館コラボレーションルームおよびオンライン(目黒区大岡山2-12-1) [交通] 東急目黒線・東急大井町線「大岡山」駅下車徒歩3分

プラスチックフィルムは、従来からの一般工業・包装用途に加えて、環境、エネルギー、光学、電気電子、医療分野等に機能性材料として、ますます広範囲に応用展開されています。プラスチックフィルム研究会は、フィルム素材自体およびこれらの用途にフィルムを適用する際に求められる機能化技術、プロセス技術の進歩に資することを目的に活動を行っています。一方、有機エレクトロニクス研究会では、テレビ・タブレット・スマートフォンなどのディスプレイとして広く普及した有機EL(OLEDs)を代表とする有機半導体材料を用いたエレクトロニクスに焦点を置き、有機デバイスの材料科学、デバイス物理、製造プロセスに到る最先端の科学と技術について、産学、業種を超えた議論・交流の場を提供し、今後の研究開発・実用化に役立ててもらう活動を行っています。本研究会講座は、プラスチックフィルム研究会と有機エレクトロニクス研究会が初めて共同で企画し、次世代の有機エレクトロニクスとその革新的発展を支える高分子フィルム技術との融合をテーマに、この技術分野の融合が拓く未来と、開発、応用例、社会実装の状況についてご講演いただきます。

参加費 企業19,800円、大学・官公庁7,700円、学生4,400円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 104-0042 中央区入船3-10-9 新富町ビル 石原弘哲 電話(03)5540-3770 E-mail: resg3@spsj.or.jp <https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=800>

第29回理科・ 化学教育懇談会フォーラム 「化学を通じた高大接続 —現状と課題—」

主催 日本化学会関東支部

会期 3月14日(土)13時30分～15時45分

開催方式 オンライン

参加申込締切 当日まで

日本化学会関東支部では、主として中高の理科・化学の教員の方々を対象とした、化学教育に関連した講演会を年に一度開催してきております。今回は「化学を通じた高大接続」を取り上げます。高大接続全体に関する現状と課題および化学を用いた実践例を高校と大学の立場からご紹介いただくことで、今後の高大接続の在り方について議論します。教員以外の方の視聴も歓迎いたします。

1. 高大接続の現状と課題 一生徒のキャリア形成を踏まえて—(芝浦工大柏中高) 中根正義
2. 高校の化学クラブ・授業での研究の指導とその後の生徒の進路について 一生徒たちと私のブラウン運動—(茨城県日立第一高) 沢島博之
3. 高大接続への大学の役割 一紙で作った分子パズルやデジタルツールで広げる化学への興味—(千葉工大工) 山本典史

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 日本化学会関東支部 E-mail: kanto@chemistry.or.jp <https://kanto.csj.jp/>

第28回理論化学討論会

主催 理論化学会

協賛 日本化学会

会期 5月18日(月)～20日(水)

開催方式 対面式

会場 岡山大学創立五十周年記念館(岡山市北区津島中1丁目1-1) [交通] 「岡山」駅西口よりバスで7～10分

参加申込締切 4月24日(金)

討論主題: 理論化学, 計算化学, および関連のある実験化学

発表形式: □頭発表, ポスター発表

参加費 会員一般・日本化学会および協賛団体会員4,000円(5,000円), 会員学生3,000円(4,000円), 非会員一般9,000円(10,000円), 非会員学生5,000円(6,000円) ※ ()内は事前参加登録締切後の料金

懇親会 岡山大学生協ピーチユニオン4F レストランにて。

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 第28回理論化学討論会実

行委員会 代表 篠田 渉 電話(086)251-7854 FAX(086)251-7769 E-mail: theochem28@jstc.org https://theochem.chem.okayama-u.ac.jp/Theochem28_HP/index.html

粉末X線解析の実際 2026

主催 日本結晶学会

共催 日本化学会有機結晶部会

会期 7月28日(火)～30日(木)

開催方式 対面式

会場 東京科学大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール(目黒区大岡山2-12-1) [交通] 東急電鉄大井町線・目黒線「大岡山」駅

参加申込締切 7月8日(水)ただし定員(200名)になり次第

粉末結晶X線回折データ(XRD)のリートベルト解析に関する3日間の総合的な講習会です。粉末X線回折法を結晶構造解析のために初めて使う人、特にRIETANを使ったリートベルト法の習得を目指す人から、さらにレベルアップを望む人、材料解析のための応用的な解析を目指す人を対象にしています。

第1日目 リートベルト解析のためのX線結晶学入門, 粉末回折計の上手な使い方, 良質な粉末回折データの測定法/試料の取り扱い。

第2日目 粉末回折データの読み方, リートベルト解析入門, RIETANを使った解析の手引き, リートベルト解析の実際, リートベルト解析のための放射光測定。

第3日目 PDFを用いた構造解析, MEM解析の基礎・ソフトウェアDysnomiaの紹介, プロトン伝導体の構造解析と拡散機構解明の実例, 放射光・中性子の利用, MEM解析の実例, 電池材料の結晶構造解析, 様々なリートベルト解析ソフトウェアの紹介。

講師 瀬戸雄介(阪公大), 紺谷貴之, 大淵敦司(リガク), 上村祐一郎(Malvern Panalytical), 池田卓史(AIST), 藤井孝太郎(法政大), 漆原大典(名工大), 河口彰吾(JASRI), 尾原幸治(島根大), 門馬綱一(科博), 齊藤 馨(科学大), 八島正知(科学大), 小林玄器(理研)

参加費 主催・日本化学会会員16,000円, 学生9,000円, 一般28,000円。テキスト「粉末X線解析の実際」第3版(朝倉書店), 1人1冊に限り5,200円で頒布。

参加申込方法 Web

申込先 結晶学会HP (<https://crsj.jp>) の講習会欄に掲載

問合せ先 162-0801 新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター 日本結晶学会ヘルプデスク FAX(03)5227-8632 E-mail: crsj-xray@conf.bunken.co.jp